

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	野の百合保育園	施設種別	保育園 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 31 年 1 月 30 日

総 評	野の百合保育園は、宇治市と京都市伏見区との境界に位置し、ニュータウンの中にある施設で、周辺は団地や高層住宅が立ち並んでいます。園の周囲は緑の森に囲まれた中央公園があり、自然豊かな環境となっています。 「一人ひとりを大切に」をテーマに、いのちを尊び、個性を認め、自己肯定感を培う、キリスト教精神を根底に保育をされており、同じ敷地内にある、児童発達支援センター「空の鳥幼児園」の子どもたちとの交流も日常的に行われており、インクルーシブな保育が展開されています。保育室には、木や布を使用した手作りの玩具や子どもの作品が多くあり、暖かい雰囲気を作り出すとともに、一人一人の発達過程に応じた環境、子どもが主体的に活動できる環境が保障され、遊びを通して子どもたちの様々な力を育もうとする保育者の思いが表れています。 また、子育て支援ステーション事業の『向島地域ネットワーク』に参加し、多文化、多世代交流、子ども子育てなどワーキンググループの参加を通して地域の福祉ニーズの把握に努め、併設の児童発達センター『空の鳥幼児園』をはじめ、様々な関係機関と連携され、地域の保育園として、その役割を果たすなど、地域に根ざす施設として地域貢献に取り組まれています。
特に良かった点(※)	● 施設長は、毎月部署会議の中で決めたテーマをもとに職員間で話し合い、その際に出た職員の意見を全体会議に提案する機会をつくるなど、職員の意見を反映するための取り組みをされています。 ● 相談をしやすい、意見を述べやすい家庭的な雰囲気を大切にされています。連絡帳の活用や定期的な個人懇談以外にも、保護者の希望に応じて個人懇談を柔軟に実施しています。 ● 「一人ひとりを大切に」の理念の通り、子どもへの関わりは丁寧で、全体的な計画から月案、週案へと一貫性が保たれ、日々の保育の記録には一人一人の子どもの姿を受け止め、子どもたちの気持ちを尊重した関わりが記載され、保育士が真摯に子どもたちの発達を理解し、気持ちに寄り添う保育をされています。
特に改善が望まれる点(※)	● 保育実習について、今後は、実習マニュアルを作成した上で、組織的・計画的に取り組まれるとなお良いでしょう。 ● 災害時における対応体制が整い、想定される災害の影響を把握し、食料・備品類等の備蓄も整備もされています。今後は、子どもの安全確認において保護者との連絡体制が整うとなお良いでしょう。 ● 指導計画や保育の記録に対する評価・反省は充実しており、その内容は職員間で共有されています。保育士個別の自己評価の項目を見直し、定期的な実施できるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

福祉サービス等第三者評価事業

[様式 9 - 2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	野の百合保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成31年 1月30日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	頁番	評 価 細 目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	b
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	a
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b

[自由記述欄]

- ・保育理念や方針については、年に3回クラス懇談を開催し、保護者への周知に努めています。また、職員に向けては、法人の理念が示されている「ミッションステートメント」の内容をもとに各職員が年間目標を立てているなど、周知が図られています。(1)
- ・月に1回、園長が向島地区の「子ども・子育てワーキンググループ」の会合に参加することで、地域の課題を把握し、地域と園とが互いに協力しあって解決を図っています(2)
- ・3か年の「中期計画」を策定されており、理念や方針の実現に向けたビジョンを明確にされています。今後は、「中期計画」と共に「収支計画」が策定されるとお良いでしょう。(4)
- ・中期計画をもとに、単年度の「事業計画」を策定されており、また、それを具体化した「取組み目標」を職員参画のもと作成されています。今後は、事業計画の中に事業の数値目標を設定されるとお良いでしょう。(5)
- ・継続的な保育の質向上のため、第三者評価を受診される年以外も、定められた評価基準に基づいて園全体の「自己評価」を実施されることが求められます。(8)

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	頁番	評 価 細 目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任と リーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	a
		13	②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b
Ⅱ-2 福祉人材の確保・ 育成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事 管理の体制が整備されている。	14	①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	②	総合的な人事管理が行われている。	b	b
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	b
	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	b
		18	②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	b
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる 専門職の研修・育成が適切に行わ れている。	20	①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	c
Ⅱ-3 運営の透明性の確 保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取 組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a
Ⅱ-4 地域との交流、地 域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されて いる。	23	①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	b
		24	②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されてい る。	25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	b
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を 行っている。	26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
		27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	a

[自由記述欄]

- ・園長は、自らの職務分掌について文書化しています。今後は、園長不在時に災害等が起こった場合の権限委任等を明確にされると良いでしょう。(10)
- ・園長は、毎月「部署会議」の中で決めたテーマをもとに職員間で話し合い、その際に出た職員の意見を全体会議に提案する機会をつくるなど、職員の意見を反映するための取り組みをされています。(12)
- ・法人憲章やミッションステートメント等で「期待する職員像」が明確にされており、キャリアパスも策定されています。(15)
- ・働きやすい職場作りのために、腰痛アンケート調査や予防接種を受けた際の補助など、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮されています。(16)
- ・職員一人一人の育成のために、各職員が毎年目標を設定し、それをもとに年に2回園長・主任が面接を行っています。今後は、各職員が設定する目標について、キャリアパスとリンクさせるなど目標水準を明確にし、各職員の能力にふさわしいものになるとなると良いでしょう。(17)
- ・園長は、職員一人一人が研修に参加できるよう配慮されています。今後は、研修計画を策定し、OJTについても担当者を明確にするなど、計画的に職員育成に取り組まれると良いでしょう。(19)
- ・実習生の受け入れ体制の整備のため、マニュアルの作成が求められます。(20)
- ・施設経営の透明性を高めるために、公認会計士による外部監査を受けられており、経営改善にも取り組まれています。(22)
- ・子育て支援ステーション事業の『向島地域ネットワーク』に参加し、多文化、多世代交流、子ども子育てなどワーキンググループの参加をとおし

て地域の福祉ニーズの把握に努め、併設の児童発達センター『空の鳥幼児園』をはじめ、様々な関係機関と連携され、地域の保育園として、その役割を果たしています。（25）

・職員と地域の方が子どもたちの散歩コースでもある保育園隣接の向島中央公園の自然環境保護活動として清掃や植樹活動に取り組んでいます。子どもたちも散歩の際にゴミ拾い等の美化活動を通して、地域の方から木々や生きものの講話を聴く等、本園の保育目標のひとつでもある『自然に親しみ、命の尊さに気付ける子ども』を地域交流を通して、育む機会を設けています。

・多岐にわたる地域との交流行事に取り組み、地域に根ざす施設として地域貢献しています。（27）

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	a
		29	②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	b
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	b
		32	③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b
		37	②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	b
		38	③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にを行っている。	b	b
		39	④	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	a
		41	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b
		43	②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	a
		45	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	b

[自由記述欄]

・法人の理念、保育方針を職員がしっかり熟知して多文化、多国籍の子どもを受け入れる体制が整備されています。快適な環境を提供し、宗教的食事の配慮がされる等、子どものプライバシー保護、人権についての権利擁護に配慮した保育が行われており、園の重要事項、パンフレットにも園の姿勢が明記されています。（28）（29）

・利用希望者や見学者に対しては丁寧に対応しています。特に併設の児童発達センター「空の鳥幼稚園」の子どもたちとの共に育ち合う環境についての説明がされて、共に育ち合う環境を大切に自園の保育に繋げています。（30）

・苦情解決体制が整えられていて、仕組みをわかりやすく保護者に明示しています。利用者からの意見に対して迅速かつ丁寧な初期対応を心がけて、保護者との信頼関係、保育の質の向上につなげています。（33）

・どの職員も子どもと保護者をしっかりと覚えていて、相談をしやすい、意見を述べやすい家庭的な雰囲気を大切にされています。連絡帳活用等の他、定期的な個人懇談以外にも保護者の希望に応じて個人懇談を柔軟に実施しています。（34）

・感染症対策のマニュアル等の整備が整っており、職員にも周知徹底されています。また、管理者は感染症予防対策のひとつとして職員全員によるインフルエンザワクチン予防接種に取り組む等、職員一人ひとりの健康管理を充実させています。（37）

・災害時における対応体制が整い、想定される災害の影響を把握し、食料・備品類等の備蓄も整備もされています。今後は、子どもの安全確認において保護者との連絡体制が整うとなお良いでしょう。（38）

・不審者侵入時対応マニュアルは整備されていますが、園の事情に適した緊急時の対応面から考えて警察との連携のもとで職員研修が行われるとなお良いでしょう。(39)

・重要事項説明書、園のパンフレット、玄関掲示「ミッションステートメント」においてプライバシー保護、人権についての園の姿勢が明記されています。保育内容は園の理念に沿って一貫性のある標準的な保育の実施方法が作成されています。(40)

・配慮、支援が必要な子どもに対してアセスメント等を行い、適正に個別指導計画が立てられています。また、様々な職員間で協議をし、計画・実施・評価・見直しを行っています。(43)

・全園児を対象とした個別の指導計画に基づく保育がすすめられ、情報共有のための会議も行われています。また、職員は個人情報保護規程等について内部、外部研修を受け、保護者へ説明するなど、子どもの記録の管理体制を整えています。(44)

・保育の継続性、小学校との連携において、転園や卒園時にその後の相談方法や担当者について記載されている文書を作成して渡しておくとなお良いでしょう。(45)

A-1 保育内容

・園舎内外は清潔

評価分類	評価項目	通番	項目番号	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-（1） 保育課程の編成	46	①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b	b
	A-1-（2） 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	a
		48	②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	a
		49	③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	a
		51	⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		52	⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		53	⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		54	⑧	障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		55	⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	a
	A-1-（3） 健康管理	57	①	子どもの健康管理を適切に行っている。	b	b
		58	②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	a
		59	③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-（4） 食事	60	①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	a
		61	②	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	b	a

【自由記述欄】

- ・園舎内外は清潔に保たれており、採光や通風も良く適切に維持・管理に努めています。（47）
- ・「一人ひとりを大切に」の理念の通り、子どもへの関わりは丁寧で、全体的な計画から月案、週案へと一貫性が保たれ、日々の保育の記録には一人一人の子どもの姿を受け止め、子どもたちの気持ちを尊重した関わりが記載され、保育士が真摯に子どもたちの発達を理解し、気持ちに寄り添う保育をされています。（48）
- ・各保育室には、木や布を使用した手作りの玩具や子どもの作品が多くあり、暖かい雰囲気を作り出すとともに、一人一人の発達過程に応じた玩具の提供、子どもが主体的に活動できる環境が保障され、遊びを通して子どもたちの様々な力を育もうと保育をしています。（50）
- ・乳児保育においては、家庭的な雰囲気を大切にし、ゆったりと優しい応答的な言葉かけをする中で、手作りのモビールや壁面等の物的環境を整えたり、保育室に隣接するテラスで外気に触れる等、個々の発達に応じて身近な環境に興味や関心が持てるよう配慮されています。（51）
- ・3歳未満児の保育では、計画的に園外への散歩を取り入れ、近隣の公園等で様々な植物や生き物、地域の方々と触れ合う機会を大切にされています。（52）
- ・園での子どもの育ちや発達の状況を的確に記録され、就学先に保育所児童要録を作成、送付されています。（56）
- ・健康診断や歯科健診の結果を健康管理保健年間計画等に反映させ、月案の基本的な生活習慣の項目に取り入れ、個々の発達段階に応じて食生活や心身の健康に興味を持てるようにし、一人一人の生活習慣となるように保育をされています。（58）

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	①	保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b
【自由記述欄】 ・保護者等からの相談に応じる体制があり、家庭の多様性にも対応しています。(62) ・虐待などの疑いがあれば、経験豊富な職員を中心に、園全体でフォローしていく体制があります。今後は、仕組みを可視化できるようにしたり、定期的な研修を実施されるとなお良いでしょう。(64) ・指導計画や保育の記録に対する評価・反省は充実しており、その内容は職員間で共有されています。保育士個別の自己評価の項目を見直し、定期的の実施できるとなお良いでしょう。(65)						